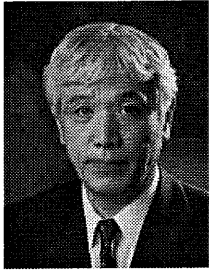


金沢大学21世紀COEプログラムに期待すること

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/5593

金沢大学 21 世紀 COE プログラムに期待すること



金 沢 大 学 長
林 勇 二 郎

金沢大学の「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」が、文部科学省 21 世紀 COE プログラムに採択され、はや 2 年が経過しようとしています。このプログラムは、世界最高水準の研究教育拠点の形成を目的とするものですが、環日本海域を包括して事業を展開する金沢大学 21 世紀 COE は、「学際性」と「総合性」を発揮して基礎から実践に至る幅広い知を創造し、これによって学問の開拓と人材の育成を重点的に取り組んでいるところであり、地域のみならず国際的にもこれからの役割と発展が期待されていると言えます。

環日本海域は世界でも高密度の人口と急速な産業の発展により、環境が大きく変化している地域です。石川県・金沢市は白山山系、能登半島、さらには資源豊かな日本海に囲まれた自然豊かな学術文化都市であり、金沢大学はこのような地にあつて、古くから環日本海域に関わる研究に携わってきた歴史があります。この経験と実績が本プログラムの発展に大きく貢献することを信じております。

すでに、本プログラムも 3 年目の最後にさしかかりました。昨年の中間評価では、本 COE プログラムが環日本海研究のネットワーク形成の中心となることがより強く求められております。今回、第 3 回目の国際シンポジウムは、この宿題の達成に向けて取り組むべき方向性を再確認する重要なものだと理解しています。参加される日本や世界の多くの研究者との情報交換や共同研究が、実りある成果を生むことを期待しております。